

# 子どもの目線で危ないところをチェック

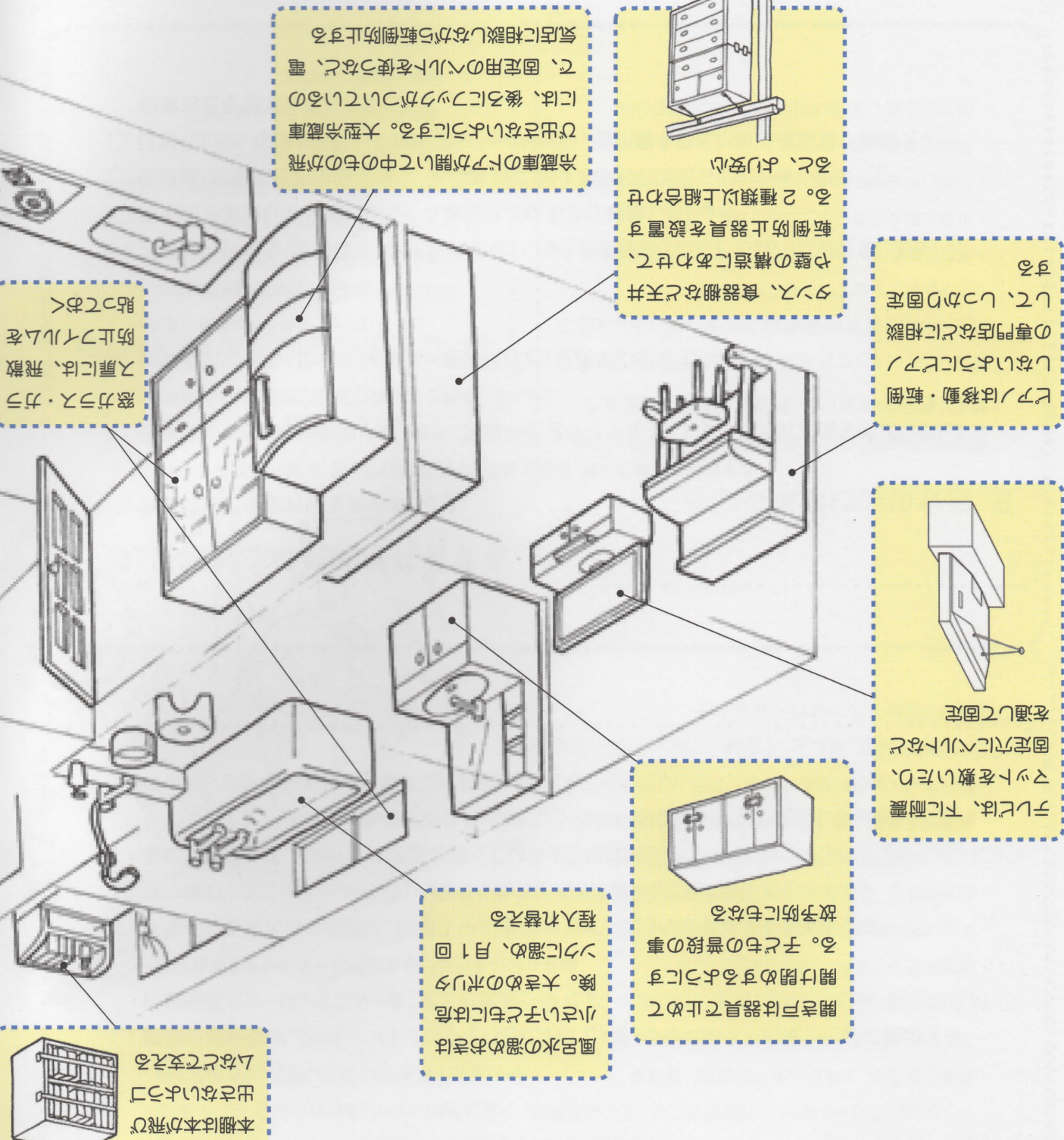
阪神・淡路大震災では、突然の大きな揺れで飛び出したテレビが覆っていた幼児を直撃し、亡くなるという悲しいできごとがありました。

子どもは、大人が安全を確保し、守ってあげなくてはなりません。

家庭内の環境を整えることも、そのひとつです。

まずは自分がか死なないこと、そして子どもの命を守るために、住まいや身の回りの「命を取られかねない」要素を、一つずつ消していくことが大切です。

さっそく、家庭内を点検し、できることから安全対策をはじめましょう。



ピアノは移動・転倒しないようにピアノの専門店などに相談して、しっかり固定する

テレビは、下に耐震マットを敷いたり、固定穴にペルトなどを通して固定

タンス、食器棚など天井や壁の構造にあわせて、転倒防止器具を設置すると、より安心

開き戸は器具で止めておく。子どもの普段の事象。子どもに危険な開き戸は器具で止めておく。子どもの普段の事象。子どもに危険な

風呂水の溜めおきは小さい子どもには危険。大きめのポリタンクに溜め、月1回程入れ替える

冷蔵庫のドアが開いて中のものが飛び出さないようにする。大型冷蔵庫には、後ろにフックがついているので、固定用のペルトを使うなど、電器店に相談しながら転倒防止する

窓ガラス・カーテンには、飛散防止フィルムを貼っておく

本棚は本が飛び出さないようになどで支える

## ポイント1

### 安全な空間を確保する

- ◆倒れてくる家具のない安全な部屋を1か所は作る
- ◆外への安全な避難路を確保する

## ポイント2

### 家具の正しい設置を行なう

- ◆転倒しても家具の下敷にならないよう、家具の配置を変える。特に寝室に注意。
- ◆倒れにくくする原則は重心を下げること。重いものは下に収納。
- ◆家具が後ろにもたれるよう家具の下にストッパー式(くさび状マット)器具をはさむ。

## ポイント3

### 転倒防止器具で固定する

- ◆効果的な器具を正しく取りつける。
- ◆ベニヤや石膏ボードなどの壁の場合は、壁の中の桟や間柱を探して固定する。
- ◆つり天井など弱い天井は補強してから転倒防止器具を取りつける。
- ◆積み重ね家具は上下を金具で止める。
- ◆天井との隙間をつっぱり棒や、段ボールを使った箱などで埋める。
- ◆家具を針金や鎖で固定する。
- ◆ピアノや冷蔵庫は専門家に相談。
- ◆ぶら下がりタイプの照明器具の固定。

## ポイント4

### ガラスの飛散防止

- ◆飛散防止フィルムを大きなガラス窓に貼る場合は分割すると貼りやすい。
- ◆フィルムを貼れない場合はカーテンを二重にするとガラスが飛び散りにくくなる。
- ◆開き扉にはストッパー・落下防止器具を取りつける。
- ◆食器類の滑り止めに、ゴムのシートなどを敷く。

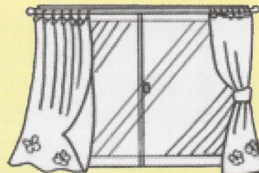
廊下や玄関に、転倒・落下する危険性の高いものを置かない。マンションなどのドアは災害時に開かなくなることが多いので、バールを準備しておく

ベビーダンスは引き出しが飛び出さないようにする。タンスの上に割れものや重いものをのせない

壁に取付けてある額・エアコンや天井の照明器具は落下防止策をする。照明器具は、天井に直接取りつける揺れないものや、割れにくい材質のものに変える

ベビーベッドは動かないように固定し、上から物が落ちてこないようにする

ガラス窓には飛散防止フィルムを貼るか、カーテンを二重にしておく



消火器は固定しておく

タコ足配線をしない。使用後はコンセントを抜いておく

台上に置かれた家電機器は台に固定する。調味料も飛び出さないようにする